

石田組

ヴァイオリニスト石田泰尚
尚の呼びかけにより
2014年に結成された弦

楽合奏団。プログラムによって様々な編成で演奏をするスタイルを取っており、メンバーは男性ばかりで“石田組長”が信頼を置いている首都圏の第一線で活躍するオーケストラメンバーを中心に公演ごとに“組員”が召集される。レパートリーはバロック音楽から映画音楽、プログレッシブ・ロックまで多岐にわたり各々のスタイルをぶつけ合いながら織り成す演奏スタイルは弦楽アンサンブルの新しい世界を切り拓く存在として各方面から注目され 2017 年にリリースされたデビューアルバム“THE 石田組”はレコード芸術誌上で特選盤の評価を得た。単独公演のみならず渡辺克也氏、工藤重典氏ら著名な音楽家との共演や組員自ら指導に当たる教育プログラムの実施など活動は多岐に渡る。

石田泰尚（いしだやすなお）ヴァイオリン

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団を経て、2001 年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来“神奈川フィルの顔”となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞した。幅広いレパートリーを誇り神奈川フィルや各地のオーケストラと協奏曲の演奏やリサイタルを行いソリストとしての顔も持つ。自身がプロデュースした男性奏者のみの弦楽アンサンブル“石田組”、新しいスタイルのピアノソラを追及した“トリオ・リベルタ”、ピアニスト及川浩治の呼びかけで結成されたピアノトリオ“Bee”、Cool なメンバーによる Hot なステージの“Super Trio 3°C”など、様々なユニットでも独特の輝きを見せる。結成から 20 年を越えた YAMATO 弦楽四重奏団では唯一無二のヴァイオリニストとしてグループの方向性を決定づけてきた。その豊かな音楽性は「繊細で優美な音楽をさらにきめ細やかに表して、浄化された深い詩情が香り立つ魅惑的な演奏」（音楽の友）など各方面から高く評価されている。

録音も多く 2016 年発売の“石田泰尚 /LIVE”、2017 年発売の“ALL BRAHMS LIVE”は共にレコード芸術誌上で準特選盤、さらに石田組デビューアルバム“THE 石田組”は特選盤の評価を得た。2018 年には石田組が NHK-FM「ベストオブクラシック」および BS プレミアム「クラシック倶楽部」で放送され大きな反響を呼んだ。使用楽器は 1690 年製 G.Tononi、1726 年製 M.Goffriller。公式サイト <http://musiciansparty.jp/artist/ishida/>

【会場までのアクセス】



【JR 中央線・南武線・青函線】立川駅下車 南口徒歩 13 分
【多摩モノレール】立川南駅下車 徒歩 12 分
【JR 南武線】西国立駅下車 徒歩 7 分

【立川バス】立川南口発 国立駅行「たましん RISURU ホール」下車 徒歩 0 分
※24 時間対応・有料駐車場があります（ご利用者は最初の 1 時間無料
※駐車台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

岩村 聡弘（いわむらあきひろ）ヴァイオリン

桐朋音高を経て渡欧、ウィーン市立音楽院にて研鑽を積み、ウィーン室内管弦楽団、ウィーン国立音大オーケストラ等、様々なオーケストラでコンサートマスターを務める他、ウィーン現代音楽祭にてソロヴィオラ奏者として ORF 国営放送出演等で好評を博す。現在、様々なオーケストラでゲストコンサートマスターを務める他、クラシックのみならず JAZZ ライブを自らプロデュースしているスリングアンサンブル等で国内外のアーティストから絶大な信頼を得ている。ブラームス国際コンクール室内楽部門ディプロマ受賞。

丹羽 洋輔（にわようすけ）ヴァイオリン

東京生まれ。7 歳よりヴァイオリンを始める。都立芸術高校を経て東京藝術大学にて学ぶ。在学中ウィーンへ留学。ディテラーコンクールにて入賞。2007 年 NHK 交響楽団に入団。これまでにヴァイオリンを佐藤素子、保井領子、岡山潔、篠崎史紀、エドワード・ツェンコフスキーの各氏に師事。室内合奏団アルクスや弦楽四重奏団大人倶楽部、ピアノトリオ浪漫メンバーとしてオーケストラの傍ら精力的に活動している。

鈴木 浩司（すずきこうじ）ヴァイオリン

1985 年福岡県北九州市出身。2008 年愛知県立芸術大学を卒業。同年、神奈川フィルハーモニー管弦楽団に入団、2017 年東京交響楽団へ移籍。2011 年チョン・ミョンフン指揮によるアジアフィルハーモニー管弦楽団の韓国、日本、中国公演に参加。これまでに、篠崎美樹、篠崎永育、故山本由香子、大谷康子、服部芳子、Ewald Danel の各氏に師事。

生野 正樹（しょうのまさき）ヴィオラ

大分県出身。14 歳よりヴィオラを始め、洗足学園音楽大学を首席で卒業、同大学大学院修了。ザルツブルク = モーツァルト国際室内楽コンクールにて第 2 位入賞。日本演奏連盟のオーディションに合格、九州交響楽団と共演。2014 年にはヴィオラソロとしては初の四枚組 BOXCD “ノスタルジック・メロディーズ” を Wanar Music Japan より発売。現在、山形交響楽団などオーケストラ客演首席、また様々なジャンルのツアー、レコーディング、ソロコンサートを中心に活動中。DINO Quartet（ハーモニーホールふくい専属）メンバー。

大島 亮（おおしまりょう）ヴィオラ

桐朋学園大学研究科修了。第 11 回コンセル・マロニエ 21 弦楽部門第 1 位、第 7 回東京音楽コンクール弦楽部門第 1 位、第 42 回マルクノイキルヘン国際コンクールディプロマ受賞。ソリストとして東京都交響楽団、九州交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共演。ヴィオラスペース、東京・春・音楽祭、ラヴェンナ音楽祭、木曾音楽祭、水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラ等に出演。室内楽では原田禎夫、チョン・ミョンファ、堀米ゆず子各氏等と共演するなど積極的に活動するほか、各地においてセミナー講師を務めるなど、後進の指導にもあたっている。現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者。

辻本 玲（つじもとれい）チェロ

東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。その後シベリウス・アカデミー、ベルン芸術大学に留学。第 72 回日本音楽コンクール第 2 位（「聴衆賞」受賞）。2007 年度青山音楽賞新人賞受賞。2009 年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第 3 位入賞（日本人最高位）。2011 年に東京サントリーホール他 5 大都市でデビュー・リサイタルを開催。2013 年齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。サイトウ・キネン・オーケストラ、アルカス佐世保のレジデンス・カルテットに毎年参加し、チェロ四重奏団「カルテット・エクスプローチェ」ほか室内楽でも活躍。メタ・ワッツ、オーランド・コール、川元適益、上村昇、山崎伸子、アルト・ノラス、アントニオ・メネセスの各氏に師事。2016 年 6 月より日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・チェロ奏者。使用楽器は、NPO 法人イエロー・エンジェルより 1724 年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを貸与されている。

公式サイト <http://www.rei-tsumimoto.com>

門脇 大樹（かどわき ひろき）チェロ

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。日本クラシック音楽コンクール第 1 位・及びグランプリ。札幌チェロジュニアコンクール優秀賞・及び山藤賞。第 5 回ビバホールチェロコンクール第 3 位。読売新人演奏会出演。第 74 回日本音楽コンクール第 3 位。ザルツブルグ = モーツァルト国際室内楽コンクール第 1 位。（東京）サイトウ・キネン若い人のための室内楽セミナー、小澤征爾音楽塾に参加。東京藝術大学卒業後、ロームミュージックファンデーションより奨学金を得て、イタリアへ留学。その後オランダへ渡り、アムステルダム国立音楽院にて研鑽を積み。現在東京音楽大学伴奏科助手。神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者。